

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

戦争の準備基地強化するな 核兵器のない平和な世界を 平和の声を松江からあげよう

美保基地 米軍戦闘機が緊急着陸 むらほ予定候補、県議団、市議団が県に申し入れ

森安部長に申し入れ書を手渡す
むらほ予定候補と議員団

航空自衛隊美保基地（鳥取県境港市）に7月21日、米軍三沢基地所属のF16戦闘機2機が緊急着陸した問題で、日本共産党県議団（尾村利成

団長、大國陽介幹事長）は26日、むらほえりこ衆院一区予定候補、たちばなふみ松江市議と共に、県に対して徹底した原因究明と万全なる再発防止・安全対策を講じることなどを要請しました。

美保基地は2007年に米軍基地化され、同年には日米共同統合演習が行われ、14年には連続離着陸訓練（タッチアンドゴー）が実施されています。最近では、6月23日に米軍輸送機（C-130J）2機が慣熟飛行訓練のため飛来しています。

尾村県議は「国は大軍拡をすすめる、日米軍事一体化と、戦争が起こりうることを前提

に、基地の強化を狙っており、住民不安は根強い」と訴え、「米軍に異常な特権を与えている日米地位協定の抜本的見直しを含め、命と安全を守る万全の対応を」と強く求めました。

森本敬史防災部長は「県民の安全・安心にとって懸念される事態であり、当日（21日）中国四国防衛局に原因究明と再発防止を申し入れた」と説明。「引き続き防衛局と緊密に連携を取り、防衛局を通じて米軍に働きかけるよう取り組んでいく」と答えました。

たちばな市議は「先般米軍機の訓練が行われたばかりで今回の緊急着陸を目的の当りにした。今後当たり前のよう

障機などの墜落、部品落下の可能性が高まるのではないかと周辺住民は懸念している」と地元の声をお届けしました。

国民平和進行の松江 平和の波を松江から

市役所と市議会事務局を訪れた
通し行進の山内金久さんと行進団

7月20日に島根県入りした国民平和進行は21日に松江市に入り、今年富山コースの通し行進山内金久さんを迎え、原水爆禁止島根県協議会の西尾幸子代表理事（91）、同事務局の西村容子さん、徳永和洋事務局長、加藤朋美さん、多久和昭代さんが松江市役所を訪れ、松江市議団が同席しました。

西尾さんは、建物疎開の作業中に同級生223人を原爆で亡くした経験を語り「当時は『生きとつちやったん』が挨拶だった。憲法前文を読んだとき、原爆で死んだ人の思いが書いてあると感じた、核兵器は人間が作ってはいけなかった」と話しました。

次長は「ペナントへの署名はできないが、平和都市宣言もしており、支所や公民館での原爆パネル展、広島への修学旅行などできる活動をしていきたい」と応じ、竹田優子市議会事務局次長は「松江市議会としても核兵器の廃絶と恒久平和の実現に努力すること宣言している（H18）、核兵器のない世界への思いは同じです」と話しました。

24日には松江駅前に50人の市民が集まり、4年ぶりに市内を行進しました。

集会では通し行進の山内さん、西尾代表理事が挨拶。集まった市民で「原爆を許すまじ」「青い空は」などを合唱しながら「核兵器をなくそう」「一緒に歩きましょう」と沿道の市民へよびかけながら天神祭りでにぎわう駅周辺を行進しました。高校生の参加もありました。

むらほ えりこ
衆院予 定候補

むらほ えりこ 街かどから訴え①

家計にやさしい政治を

6月13日夕方。松江の顔でもあった一畑百貨店閉店を知らせるニュース速報のテロップに、皆さんも驚かれたと思います。コロナ禍における業績不振が原因とのことですが、とても寂しく残念でなりません。

戦後最悪と言われたリーマンショックを上回る景気の落ち込みとなったコロナ禍における経済状況。これはコロナ感染拡大によって①消費活動自体が制限されたこと、②収入が減る中、先行き不安と相まって消費が冷え込んだこと、③消費税増税により消費が落ち込んでいたところにコロナ禍が追い打ちをかけたこと。これら3つの要因が複合的に引き起こした消費不況です。今、行うべきは消費税をただちに5%に減税することではないでしょうか。

私も家計を預かる者として、家計予算を立てて、物価高騰対策をしています。四半世紀

以上家計簿をつける中、消費税がいかに家計を圧迫するかを実感しています。

消費税は、低所得であればあるほど、所得に対する負担率が高い、不公平な、逆進性の強い税制です。日本共産党は将来的には廃止すべきと考えていますが、当面は安倍政権が2度にわたり強行した増税前の5%に戻すことを求めています。

世界では今や100を超える国と地域で消費税にあたる付加価値税がなくなるか減税になっていきます。日本でも消費税を減税させましょう。そして小規模事業者やフリーランスの生業を追い詰めるインボイスは中止にしましょう。この声を皆さんと一緒に上げていきたいと思っています。

通し行進の山内さんは「5回目の平和行進で35県を歩いてきた。被爆者の頑張りや核兵器禁止条約ができた。日本も批准する国になるよう松江市からも訴えてほしい」と要請しました。応じた永田幸子総務部



4年ぶりに松江市内を行進する市民のみなさん